

# 令和4(2022)年度 ウィークエンド青少年セミナー②実施報告

実施日：令和4年10月15日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年がボランティア活動や地域活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びをとおり、活動の企画・運営などの実践力を身に付けることをねらいとし、9～12月に全5回の内容で実施します。第2回は栃木県総合教育センターで行われ、計34名が参加しました。

## 協議「学びの杜の冬休みに参加するために大切にしたい気持ちとは」

総合教育センター職員

12月に当センターで行う公開講座「学びの杜の冬休み」にて講座を運営するにあたり、講座を受講する小学生への接し方や一緒に活動を行う仲間との接し方など、大切にしたい気持ちや考え方について話し合いました。その後、他の班の発表を聞いたことにより、新しい考え方に触れることができました。受講生は活動をとおり、「学びの杜の冬休み」に参加する意欲を高めることができました様子でした。



## 体験講座「手軽に遊べる工作遊び」

栃木県子ども総合科学館 展示課長 室岡 久男 氏

## 体験講座「手軽に遊べる昔遊び」

センターボランティアの会の皆様

小学生が行う工作遊びや昔遊びを体験しました。また、講師から、子どもたちが講座の中で、楽しく遊ぶためのこつや準備の重要性、安全面で考慮することなど講座を運営するポイントを学びました。

受講生は実際に体験し、運営の留意点を学んだことで、自分たちが講座を運営するイメージをつかめた様子でした。



## 演習「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しめる講座を考える」

総合教育センター職員

「学びの杜の冬休み」において、班でどのような講座を行うか話し合いました。考えてきたアイデアを元に、「小学生にどんなことを学んでほしいか」「楽しく学んでもらうためにはどのような方法がよいか」など、積極的に話し合いました。

話し合ったことを「企画書」にまとめることで、自分たちの講座をよりよいものにしていきたいという気持ちを高めることができました。



### \*受講者の感想より\*

- 学びの杜の冬休みにどのような気持ちで臨むかというところで、他の班の意見を聞いたことで、自分が思いつかない様々な意見に触れることができた。
- 講座を企画するにあたって注意点や予め説明しておいた方がよいことなど、実際に体験しないと分からないことに気がつくことができたのがよかった。
- 安全性を十分に考慮した上で楽しむことが成り立つということを学んだ。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp